

教育研究業績書

令和8年4月30日

氏名 相 沢 和 恵

認定を受けようとする課程における担当授業科目

領域及び保育内容の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育に関する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育内容言葉（単独） ・ 保育内容総論（単独） ・ 保育内容言葉の指導法（単独） 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習指導Ⅰ（複数） ・ 実習指導Ⅱ（複数） ・ 実習指導Ⅲ（複数） ・ 教育実習Ⅰ（複数） ・ 教育実習Ⅱ（複数） 	

教育上の能力に関する事項

事項	年 月	概要
1.教育方法の実践例	平成28年4月 ～令和5年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践・保育実践に必要な教材を提示し、指導案作成時などの手引きとして活用できるようにした。また、オフィスアワー及びメール等で学生の添削指導・相談を随時受け付けた。 ・卒業論文作成に係る添削指導、実践の場の紹介と同行、学生からの相談などに適時、対面指導やメールでの指導を行った。 ・コロナ禍においては、担当授業に関してオンデマンド形式、オンライン形式での応答性のある内容を考慮して実践した。
2.作成した教科書、教材	平成28年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度版「ナチュラル保育検定テキスト」（具体的内容：樹木・草花・野菜・虫・有害な虫・両生類・鳥類・甲殻類・哺乳類・自然現象などの項目ごとに固体の具体名や視覚教材を記載）を作成、編集した。
	平成29年4月 ～平成31年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習ガイドブック」の主に教育実習Ⅰ・Ⅱに関する準備、観察法、日誌記入、指導案作成、振り返り、実践のヒント等、記載の改定内容に係る執筆を行った。
	令和3年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもと社会の未来を拓く障害児保育—インクルーシブな保育に向けて」様々な子どもを含むインクルーシブ保育を実践するために、保育実践の中で用いられる絵本の書誌情報と内容を、該当コラム2ページに渡り、合計24冊紹介した。
3.教育上の能力に関する大学等の評価	令和6年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの文化」テキスト第8章で「子どもとおはなし」第9章で「子どもと紙芝居、人形劇、パネルシアター」の教材についての説明と実践事例、ワークを執筆した。
	令和2年4月～ 令和5年3月 令和7年4月～ 令和8年5月	<ul style="list-style-type: none"> 筆者：宮野周/編著、飯泉祐美子、宮里暁美、相沢和恵ら ・学校法人九里学園浦和大学主催の学生からの授業アンケート評価にて、授業内容が保育現場に密着した分かりやすいものとの評価を得られた。 ・学校法人山村学園山村短期大学主催の学生からの授業アンケート評価にて、長年東京都の公立幼稚園及び公立保育所に勤務した経験を生かした「保育内容総論」「保育内容言

4.実務の経験を有する者についての特記事項	平成30年10月	業」「実習指導Ⅰ・Ⅱ」等で高い評価を得られた。滑川総合の「家庭科」の授業で外部講師として「絵本とプチシアター」と題し、講義と演習を行った。
	平成31年4月 令和2年2月	・比企郡地域大学等連携協議会主催の「子育てリレー講座」の講師として「子どもと一緒に楽しむ児童文化教材」、また、「絵が語る、言葉が魅せる、心が躍る 子どもと楽しむ児童文学パート2」と題し、絵本の紹介や読み合い等の演習と講義を行った。
	令和3年4・7・10・12月	・国立オリンピック記念青少年総合センター内の図書館内、キッズコーナーにて、絵本や紙芝居の読みあい・手遊び・ふれあい遊び等を担当した。
	令和4年2月	・神奈川県秦野市立図書館にて「楽しいお話会の講座」と題し、お話会開催のための手法について演習を交えた講義を行った。
	令和6年5月	・東京都台東区保育者実技研修の講師として、絵本専門士委員会より要請を受け、保育に活かす絵本の選書と活用法についての実技研修講師を担った。 ・昭和女子大学福祉社会学科の専門演習・子育て演習の講義に招聘され、3,4年生対象に絵本についての専門的知識と技能を身に付け、乳幼児期に絵本に親しむ効用についての学びを深める講義と演習を行った。
	令和6年7月	・東京都墨田区立幼稚園教諭を対象に、「夢中になって遊び込む幼児の育成～遊びの読み取りを生かした援助の工夫」をテーマに、絵本や紙芝居を利用した幼児の遊びを充実させる支援法についての講師を務めた。
	令和7年2月	・東京都小金井市立図書館において「おはなし会サポーター向けスキルアップ講座」と題し、乳幼児期から子どもが本や図書館に親しむ環境を整備するにはどのような具体策があるかに関する講座の講師を担った。
令和7年6月	・絵本学会第28回大会において「絵本や読み物と乳幼児期にどう出会うかー子ども、保護者、学生のアンケートからみえてきたものー」と題して、口頭発表を行った。	

職務上の実績に関する事項

事項	年月	概要
1 資格, 免許	平成8年2月 平成16年6月 令和元年6月 令和2年6月 令和5年12月	幼稚園教諭1種免許状(平8幼1第10号東京都教育委員会) 保育士資格(東京都-039781) 絵本専門士(絵本専門士委員会国立青少年教育振興機) JPIC読書アドバイザー
2 学校現場等での実務経験	20年	中央区立晴海幼稚園教諭(昭和52年4月~昭和56年3月) 荒川区立町屋幼稚園教諭(昭和56年4月~平成4年3月) 文京区立千駄木幼稚園教諭(平成4年4月~平成7年3月) 北区立としま幼稚園教諭(平成10年4月~平成13年3月) 北区立さくらだ幼稚園教諭(平成13年4月~平成17年3月)

		東京都目黒区立、千代田区立、品川区立、荒川区立、各認可保育所 派遣保育士、非常勤保育士
3 実務の経験を有する者についての特記事項	<p>令和2年8月</p> <p>令和4年2月</p> <p>令和5年12月</p> <p>令和6年5月</p> <p>令和6年11月</p> <p>令和7年6月</p>	<p>・神奈川県立神奈川図書館にて、生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」の講師を絵本専門士の立場から行った。演習を交えた講義を、保育者・学校教員・図書館司書を対象として行った。</p> <p>・神奈川県秦野市立図書館の公開講座「楽しい絵本とお話の会」の講師として、今後おはなし会を開こうと企画している受講者に、絵本専門士の立場から講義と演習を行った。絵本を中心としたおはなし会開催の際、読み手に必要な知識と技術について講義を行った。</p> <p>・第33回日本乳幼児教育学会において「自己理解の手がかりとしての“自分ものがたり”とこれを保育者としてのまなざしに活かす試み」と題して、口頭発表を行った。</p> <p>・東京都台東区保育者実技研修の講師として、絵本専門士委員会より要請を受け、保育に活かす絵本の選書と活用法についての実技研修講師を担った。</p> <p>・昭和女子大学福祉社会学科の専門演習・子育て演習の講義に招聘され、3、4年生対象に絵本についての専門的知識と技能を身に付け、乳幼児期に絵本に親しむ効用についての学びを深める講義と演習を行った。</p> <p>・絵本と読み物をつなぐミーティング」というテーマのもと、幼少期の絵本体験がその後の読書活動に深く関わる事実を、お話会の実践事例などを交えて口頭発表した。</p> <p>・第28回絵本学会において、「絵本や読み物と乳幼児期にどう出会うか？—子ども、保護者、学生のアンケートからみえてきたもの」と題し、口頭発表を行った。</p>
4 その他	令和5年4月～令和7年3月	東京都保育士等キャリアアップ研修「乳児保育」「幼児教育」「障害児保育」の3つの職務分野において専門分野別リーダー育成のための研修担当講師を務めた。

担当授業科目に関する研究業績等

担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	執筆ページ数 (総ページ数)	概要 (共著の場合は全員の著者名を記載) (共著及び執筆ページ数が抽出できない場合は執筆箇所を詳述)
保育内容言葉 (単独)	(著書) 1. 「子どもの文化—理論と実践から学び考えよう」 (教育実践記録等) 1. 保育者養成校における「絵本の捉え方について	共 共	令和6年3月 平成29年5月	教育情報出版 日本保育学会第70回大会(岡山県)研究発表論	19 (153) 抽出不可	児童文化財であるお話、紙芝居、人形劇、パネルシアターの教材について、その歴史を概観し、 <u>子どもと実際に楽しむ実践事例や教材の利用法等を記述、ワークを作成した。</u> 著者：宮野周/編著 計16名 <u>相沢和恵。</u> <u>保育者養成校の授業において、乳幼児に適した絵本を自作する演習を通して得た知見を明らかにすることを目的として論述した。</u>

<p>ての一考察 そのⅡ</p> <p>2. 保育者養成校における「絵本」の読み取りとオリジナル絵本製作の意義に関する一考察</p>	<p>単</p>	<p>平成30年3月</p>	<p>文集 山村学園短期大学紀要第28号</p>	<p>抽出不可 (19)</p>	<p>保育者養成校に通う学生を対象に、<u>学生が絵本から読み取るメッセージを基にオリジナル絵本を制作する意義と課題を明確化した。</u></p>
<p>3. 保育者養成校における「絵本」の捉え方についての一考察 そのⅢ</p>	<p>共</p>	<p>平成30年5月</p>	<p>日本保育学会第71回大会(宮城県)研究発表論文集</p>	<p>抽出不可</p>	<p>保育者養成校の授業において、乳幼児に適した絵本・紙芝居を自作する<u>演習、乳幼児に自作した作品を読む演習を通して得た知見を明らかにすることを目的として研究発表論旨を投稿し、受理された。</u> 筆者：岡田理、相沢和恵。</p>
<p>4. 保育者養成校における「絵本」の読み合いについての一考察</p>	<p>共</p>	<p>平成31年3月</p>	<p>山村学園短期大学紀要第29号</p>	<p>抽出不可 (17)</p>	<p>保育者養成校に通う学生を対象に、<u>授業内において絵本の読み合いを行い、読み手がどのようなねらいを立てて絵本を読んだか、聞き手は読み手と絵本そのものの楽しさを共有したかを明らかにし、保育に児童文化財である絵本を取り入れる意義と今後の保育者養成校での絵本の読み合いに関する課題を明らかにした。</u> (pp : 59~75) 筆者：岡田理、相沢和恵。</p>
<p>5. 保育者養成校における「絵本」の捉え方についての一考察 そのⅣ</p>	<p>共</p>	<p>平成31年3月</p>	<p>日本保育学会第72回大会(東京都)研究発表論文集</p>	<p>抽出不可</p>	<p>保育者養成校の学生を対象に<u>絵本の読み合いを行い、読み手がどのようなねらいを立てて絵本を読んだか、聞き手は読み手と絵本そのものの楽しさを共有したかを明らかにし、保育に児童文化財である絵本を取り入れる意義と今後の保育者養成校での絵本の読み合いに関する課題を明らかにすることを目的として研究発表論旨を投稿し受理された。</u> 筆者：岡田理、相沢和恵。</p>
<p>6. 保育者養成校と保育所における「ファーストブック」の読み合いについての一考察</p>	<p>共</p>	<p>令和2年3月</p>	<p>山村学園短期大学紀要第30号</p>	<p>抽出不可 (16)</p>	<p>筆者：岡田理、相沢和恵。 <u>保育者養成校の学生がブックスタートの活動についてどのような気づきや感想を持つか、保育の現場で保育者が実際にファーストブックを読む場面の事例を検討し、1対1で読み合う場合と子どもの集団に保育者一人が読む場合の子どもの受け止め方の差異等を明らかにした。</u> 筆者：岡田理、相沢和恵。</p>
<p>7. 絵本作家 林明子の世界を読み解く：その作品と半生を辿る</p>	<p>単</p>	<p>令和3年3月</p>	<p>山村学園短期大学紀要第31号</p>	<p>抽出不可 (8)</p>	<p><u>絵本作家、林明子の代表作である絵本を取り上げ、それぞれの作品の特徴や絵本作家として林明子がどのような人世を歩んできたかを明らかに</u></p>
<p>8. 自己理解の</p>		<p>令和4年3月</p>			

	手掛かりとしての「自分物語」	共		ノート ルダム 清心女 子大学 紀要 第46巻 第1号	19 (193)	した。 子ども時代の記憶を呼び戻し、授業 内ワークシートに書き表した子ども 時代に深く印象に残っている記憶を 2つの大学の学生の記述を比較検討 しながら、保育や幼児教育を目指す 学生が自分自身を過去から未来に向 かって生き続ける一人の人間として 捉えなおす重要性を明らかにした。 筆者：村中李衣、相沢和恵。
	9. 自分ものが たり」を保育者 としてのまな ざしに活かす 試み	共	令和5年3月	ノート ルダム 清心女 子大学 紀要 第47巻 第1号	19 (195)	前年度の研究をもとに、子ども時代 の経験を幼児対象にお話として手渡 すと、その文面がどう改変されるか アンケート調査をもとに集計し、保 育者の立場が教え導く役割と認識さ れがちな場合と、あくまで子ども時 代の記憶を大切にして伝える場合の 差異がなぜ起きるのかについて分析 考察を加えた。 筆者：村中李衣、相沢和恵。
	12. 人格形成の 基礎となる幼 児教育の在り 方についての一 考察～就学 前の読書体験 に着目して～	共	令和7年3月	山口学 芸大学 芸研 究第16 号	10 (119)	筆者：村中李衣、相沢和恵。 児童文化の授業を履修している大学 生を対象に、就学前の読書体験に関 するアンケート調査を行い、 <u>家庭で 読んでもらった本と園で読んでもら った本、それ以外で読んでもらった 本にまつわるエピソードを分析考察 した。五感を伴う体験や非言語的要 素・遊びへの発展の記憶が、豊かに 記述された事実を明らかにした。</u> 筆者：村中李衣、相沢和恵。
	13. 人格形成の 基礎となる幼 児教育の在り 方についての一 考察～小学 生とその保護 者へのアンケ ート調査を中 心にして～	共	令和8年3月	山口学 芸大学 芸研 究第17 号	7 (118)	前年度の研究をもとに、就学前の読 書体験に関するアンケート調査を、 関東圏A国立附属幼稚園、B私立大学 附属幼稚園、C公立幼稚園の卒園児と 保護者に行った。その結果、 <u>子ども が成長していく年代を追うごとに読 書体験の意味は変化し更新され、更 新されながらも一度一番シンプル なところに戻り、読書は何々をいざ なうので、“読書=何々”という原因 と結果を一直線で結ぶ因果関係では ないことが、2年連続の研究結果を通 じてり明らかになった。</u> 筆者：村中李衣、相沢和恵。
保育内容総 論(単独)	(著書) 1. 保育内容 「環境」	共	平成28 年4月	萌文書 林 (233ペ ージ)	抽出不 可 (233)	保育内容「環境」の事例を担当し、 <u>人的環境・物的環境・社会的環境・ 自然環境・心をはぐくむ環境・子 どもを守る環境、などに関連させ内 容を記述した。著者：計10名 相沢 和恵。</u>
	2. 保育内容	共	令和2	萌文書	28	

	「健康」		年4月	林	(255)	保育内容「健康」の第9章を担当し、 <u>安全についての見通しを立てる、体験をもとに安全な生活に活かす力を育む、安全管理に関する教職員の連携</u> について記述した。 著者：計11名 相沢和恵。
	3. 立ちあう保育	共	令和6年3月	ミズノ 兎ブックス	抽出不可 (216)	山口県の保育園の50年の歴史を、写真記録と保育記録、保護者との連絡帳の記録等から紐解き、 <u>保育における本当の物語とは何かを考察した。子どもと保育者と保護者が共に育ちあうことで、子どものいのちが伸びゆく日々を、記録として浮かび上がらせた。</u> 著者：村中李衣・相沢和恵。
	(教育実践記録等) 1. 「気になる幼児」の保育を支える幼稚園教諭の資質と地域における特別支援教育の仕組み—関西地区K市とA市における聞き取り調査から—	共	平成30年1月	一般財団 保育教諭養成 研究会 研究紀要 第3号	抽出不可 (10)	日本保育学会第70回大会にてシンポジウムの内容、 <u>関西地区K市とA市における特別支援教育の仕組みが、障がいのある幼児への園内支援の向上に役割を果たしており、幼稚園教諭の特別支援教育に関する資質の向上にも成果を上げている点について考察した。</u> 筆者：計9名 相沢和恵。
	2. 特別支援に配慮したこれからの保育者養成カリキュラムをめぐって	共	平成30年3月	武蔵野 短期大学 研究紀要 第32号	抽出不可 (10)	<u>幼稚園での「気になる子」の調査研究及び教育実習と保育者養成校の授業内容、特別支援にかかわる他の専門職資格・免許における養成時カリキュラムの相違点と共通点、K市幼稚園の特別支援教育の支援体制、韓国の幼児教育の現状と課題等、多様な視点から保育者養成におけるカリキュラム編成について検討した。</u> 筆者：計7名 相沢和恵。
保育内容言葉の指導法 (単独)	(著書) 1. 「子どもの文化—理論と実践から学び考えよう」 (教育実践記録等) 1. 絵本作家 林明子の世界を読み解く：その作品と半生を辿る	共	令和6年3月	教育情報出版	19 (153)	(再掲の為、略)
		単	令和3年3月	山村学園 短期大学 紀要 第31号	抽出不可 (8)	(再掲の為、略)
	2. 自己理解の手掛かりとしての「自分物語」	共	令和4年3月	ノート ルダム 清心女子大	19 (193)	(再掲の為、略)

	<p>3. 自分ものがたり」を保育者としてのまなごしに活かす試み</p> <p>4. 人格形成の基礎となる幼児教育の在り方についての一考察～就学前の読書体験に着目して～</p> <p>5. 人格形成の基礎となる幼児教育の在り方についての一考察～小学生とその保護者へのアンケート調査を中心にして～</p>	共	令和5年3月	<p>紀要 第46巻 第1号 ノートルダム清心女子大学紀要</p>	19 (195)	(再掲の為、略)
		共	令和7年3月	<p>山口学芸大学学芸研究第16号</p>	10 (119)	(再掲の為、略)
		共	令和8年3月	<p>山口学芸大学学芸研究第17号</p>	7 (118)	(再掲の為、略)
実習指導 I	<p>(教育実践記録等)</p> <p>1. 「気になる幼児」の保育を支える幼稚園教諭の資質と地域における特別支援教育の仕組みー関西地区K市とA市における聞き取り調査からー</p> <p>2. 特別支援に配慮したこれからの保育者養成カリキュラムをめぐって</p>	共	平成30年1月	<p>一般財団法人保育養成課程研究会研究紀要第3号</p>	抽出不可 (10)	(再掲の為、略)
		共	平成30年3月	<p>武蔵野短期大学研究紀要第32号</p>	抽出不可 (10)	(再掲の為、略)
教育実習 I・II・III	<p>(教育実践記録等)</p> <p>1. 「気になる幼児」の保育を支える幼稚園教諭の資質と地域における特別支援教育の仕組みー関西地区K市とA市における聞き取り調査からー</p> <p>2. 特別支援に配慮したこれから</p>	共	平成30年1月	<p>一般財団法人保育養成課程研究会研究紀要第3号</p>	抽出不可 (10)	(再掲の為、略)
		共	平成30年3月	<p>武蔵野短期大</p>	抽出不可	(再掲の為、略)

	の保育者養成カリキュラムをめぐって			学 研 究 紀 要 第 32号	(10)	
--	-------------------	--	--	-----------------------	------	--